

実データで学ぶ人工知能講座（AI データフロンティアコース）開設のご案内

1. 発表者：萩谷 昌己（東京大学 大学院情報理工学系研究科 コンピュータ科学専攻 教授）

2. 発表のポイント：

- ◆東京大学は、大阪大学とともに、NEDO（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）の委託を受け、社会人のための「実データで学ぶ人工知能講座（AI データフロンティアコース）」を開設します。設置期間は平成 31 年度末までの二年半で、2017 年 11 月 1 日（水）より平成 29 年度分の受講生の公募を開始します。
- ◆この講座は、人工知能（AI）技術の即戦力人材育成のための教育プログラムです。大阪大学が大学院レベルの講座を提供するのに対して、東京大学では、より裾野を広くして学部レベルの基礎的な講座を提供します。受講者は、CS（コンピュータサイエンス）のプレースメントテストと補講により情報科学の基礎を確認し、また、AI に関して、人工知能概論、機械学習、自然言語処理、画像認識、および、データを用いた演習を通じて、基礎から応用まで幅広く学ぶことができます。
- ◆本講座を通じて、企業が必要とする最先端の AI 技術に関する実践的な技術力を有する人材を輩出します。また、大阪大学と東京大学における講義内容を含んだ、短期間での人材育成を行う AI 教育プログラムのパッケージを構築します。

3. 発表内容：

社会の各所において人工知能人材が求められています。経産省の調査によれば、現状の約 10 万人に対して、新たに 2 万人程度の人材が必要とされています。一方、RU11（注 1）に限定した調査ですが、人工知能分野の修士課程修了者は年間 900 人弱にとどまっています。このため、大学教育の拡充とともに、社会人教育の必要性が強く認識されています。とりわけ、人工知能技術には他分野との融合が期待されており、情報学を専門としない人材への教育の重要性も認識されています。

本講座は、以上のような背景のもと、NEDO（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）による特別講座の一環として、東京大学と大阪大学を拠点校として、人工知能技術の応用を期待される全国の社会人を対象として設計されました。大阪大学が大学院レベルの講座を提供するのに対して、東京大学では、より裾野を広くして学部レベルの基礎的な講座を提供いたします。

CS（コンピュータサイエンス）は人工知能の基礎です。人工知能のアプリケーションが多彩になっていますが、その技術基盤である CS の知識とスキルは、アプリケーションを活用・拡張するためにも必須です。本講座では人工知能の講義に先立って、プレースメントテストにより受講者の CS の知識とスキルを測り、必要に応じて補講を行います。CS の基礎を確認した後で、AI に関して、人工知能概論、機械学習、自然言語処理、画像認識、および、データを用いた演習を行います。

本年度はパイロット授業を以下のように開催いたします。奮ってご参加ください。

CS プレースメントテスト

- ・ 2017 年 12 月 9 日（土）の午後、又は、2017 年 12 月 16 日（土）の午後

CS 補講

- ・ 2018 年 1 月 20 日（土）、27 日（土）のうち、テスト結果もしくは希望により一部もしくは全部を履修。

AI 講座

- ・ 2018 年 2 月 3 日（土）、10 日（土）

受講方法

- ・ 2017 年 11 月 1 日（水）から公募情報を下記のホームページに掲載予定です。
実データで学ぶ人工知能講座（東京大学）ホームページ：<http://learn-ai.org>
- ・ 募集期間は 2017 年 11 月 1 日(水)から 11 月 30 日(木)までを予定しています。

募集人員

- ・ 約 20 名

4. 関連 URL :

NEDO ニュースリリース「即戦力となる AI 分野の人材を育成—NEDO 特別講座を大阪大学と東京大学の 2 拠点で開講へ—」（2017 年 7 月 28 日）

http://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_100809.html

5. 用語解説 :

（注 1）RU11：研究及びこれを通じた高度な人材の育成に重点を置き、世界で激しい学術の競争を続けてきている大学（Research University）による国立私立の設置形態を超えたコンソーシアムの略称。正式名称は「学術研究懇談会」。現在、北海道大学、東北大学、東京大学、早稲田大学、慶應義塾大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学、筑波大学、東京工業大学の 11 大学で構成されています。